

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月25日

計画の名称	鈴鹿市社会資本総合整備計画（鈴鹿市地域住宅計画）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	鈴鹿市												
計画の目標	『だれもが快適に安心して住み続けられる住まい・まちづくりを実現するため、良好な住環境の整備と既存ストックを有効活用した居住の安定の推進を図る。』												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	221	A	221	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	・当計画期間内における鈴鹿市市営住宅長寿命化計画の達成率を68%（H28）から83%（R2）に増加する。 市内の公営住宅のうち、長寿命化型改善された戸数割合 (達成率) = (改善済み戸数) ÷ (鈴鹿市市営住宅長寿命化計画に定める事業予定戸数)	68%	77%	83%
2	・空き家の可能性がある地点（空き家候補）のうち、空家等実態調査を実施・完了した件数割合を0%（H28）から100%（R2）に増加する。 平成25年住宅土地統計調査における市内の空き家総数のうち、空家等実態調査を実施・完了した住宅戸数の割合 (空家等実態調査の調査済割合) = (空家等実態調査実施済戸数) ÷ (市内の空き家候補数)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公営住宅等ストック総合改善事業（A1-1）	外壁改修（64戸程度）	鈴鹿市	■					31		策定済
	A15-002	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公営住宅等ストック総合改善事業（A1-1）	外壁改修（104戸程度）	鈴鹿市				■	■	59		策定済
	A15-003	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公営住宅等ストック総合改善事業（A1-2）	福祉対応型改善（6戸程度）	鈴鹿市		■	■	■		3		策定済
	A15-004	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公営住宅等ストック総合改善事業（A1-3）	屋根防水（108戸程度）	鈴鹿市		■	■			102		策定済
	A15-005	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業）（A1-4）	空き家等実態調査（市内全域）	鈴鹿市	■					11		—
	A15-006	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公営住宅等ストック総合改善事業（A1-5）	市営住宅長寿命化計画の改定	鈴鹿市				■		5		—

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-007	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	地域住宅政策推進事業（提案事業）／市営住宅総合再生事業（A c-1）	老朽化した市営住宅団地の除却（2棟程度）	鈴鹿市	■					4		—
	A15-008	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	地域住宅政策推進事業（提案事業）／市営住宅総合再生事業（A c-2）	老朽化した市営住宅団地の移転費助成（22戸程度）	鈴鹿市	■	■	■	■		6		—
											小計						221		
											合計						221		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鈴鹿市にて実施	計画期間内の全事業終了後（令和3年3月）
	公表の方法
	鈴鹿市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿市市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の外壁改修、屋根防水改修及び福祉対応型改善工事を行うことにより、市営住宅ストックの長寿命化に資することができた。</li> <li>・空家等実態調査を完了することにより、だれもが快適に安心して住み続けられる住まい・まちづくりを実現するための鈴鹿市空家等対策計画を策定することができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿市市営住宅長寿命化計画の改定を行うことにより、より現状に即した市営住宅の有効活用と長寿命化に向けた方向性を定めることができた。</li> <li>・老朽化した団地の解体・除却や入居者の移転費助成を行うことにより、住環境の向上や良好な住宅市街地の形成につなげることができた。</li> </ul>

○特記事項（今後の方針等）

今後も、市営住宅長寿命化計画に基づく計画的な改修を行うことにより、良質な市営住宅ストックを確保し、だれもが快適に住み続けられる住まい・まちづくりを実現していけるよう、着実に事業を推進していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公営住宅の改善割合	
	最終目標値	83%
	最終実績値	83%
2	空家等実態調査の完了割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%